

はじめに 省エネとゼロカーボン ～地球と未来の子どもたちのために～

◆ 気候危機の原因は二酸化炭素

地球温暖化に起因する**異常気象**や**気象災害**が世界で頻発し、気候変動問題は「**気候危機**」とさえ言われるほど、私たちの生活に大きな影響を与えるようになっており、その大きな原因が、**人類の化石燃料消費**による大気中の二酸化炭素の増加です。

◆ 対策のキーワードは「2050 ゼロカーボン」

2019年12月、長野県は、「**2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ**（2050 ゼロカーボン）」を宣言しました。全国にさきがけて、ゼロカーボンを明確な目標にすえたのです。

（※カーボンニュートラル、脱炭素も、ゼロカーボンとほとんど同じ意味で使われています。）

◆ “省エネ”が最重要

私たち長野県地球温暖化防止活動推進員有志は、2020年夏に最初の『夏の省エネガイドブック』を発行しました。その後、冬版、夏版と交互に回を重ねて、4年目の夏を迎えました。

コロナ禍の中で、ゼロカーボンに向けた省エネ対策を皆さんにお知らせしたい、実践してほしいという思いから、ガイドブックを充実させてまいりました。昨今のエネルギー危機により、省エネの必要性はますます高まっています。

ゼロカーボンを実現するための長野県の実行計画では、**エネルギーは70%の削減が必要**です。省エネが最重要となる理由はここにあるわけです。したがって、このガイドブックは、「省エネ」を主体に構成されています。大きな目標ですが、省エネにはいろいろな方法がありますので、皆が、自分たちのできることを考え実践していくことで目標に近づくことができます。

◆ 省エネ以外の取り組みも必要

ゼロカーボン実現のためのもう1つの大きな柱として「**再生可能エネルギー**」の導入があります。目標は3倍以上です。家庭でもできることがたくさんありますので、ガイドブックの中でも紹介しています。（P22）

そのほか、**森林資源の育成と活用**、**プラスチックの削減**（P29）等も、ゼロカーボンの実現につながり、未来の地球を守る大きな力となります。

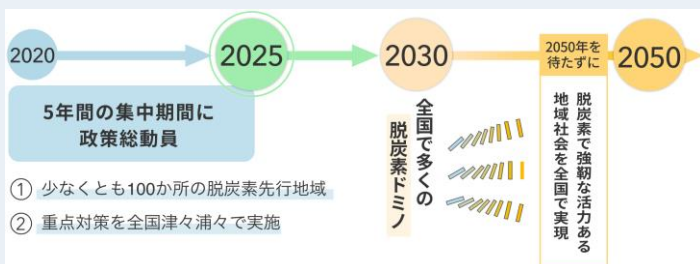
美しい地球と子どもたち、孫たちの未来のために、少しでも役立つことを祈念して、まえがきとします。

2023年7月吉日 長野県地球温暖化防止活動推進員有志代表 宮澤 信

「脱炭素先行地域」に長野県から4市町村が選定されています！

2022年の第1回から2023年4月の第3回まで62提案が選定され、長野県からは、**松本市**（第1回）、**飯田市**（第2回）、**小諸市・生坂村**（第3回）が選定されています。

選定された地方公共団体に対しては、地域の脱炭素トランジションへの投資として環境省より交付金が交付され、複数年度にわたり継続的かつ包括的に支援されます。



地域脱炭素ロードマップでは、少なくとも100ヶ所の脱炭素先行地域で、**2025年度までに、脱炭素に向かう地域特性などに応じた先行的な取り組み実施の道筋**をつけ、**2030年度までに実行**し、これにより、農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において、**地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現**しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すこととしています。

環境省「脱炭素地域づくり支援サイト」より

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/chiiki-datsutanso/>

【文責】宇野 親治